



英海追加
春



和
1977
8



1977
8



卷之三

卷之三

卷之三

卷之三



卷之三

卷之三

卷之三

卷之三

卷之三

卷之三

卷之三

卷之三

玉海集道加題目錄

春之部

立春

毬打胡鬼板

冰槌

子曰

若菜

白鳥節會

古儀長

賭弓

處

鶯

梅

春冰

佛別

春雷

春雨

柳

松若錦

椿

玄葉

蕨

花

楊

楊鯛

春田

角組芦

上巳

付桃菜餅

平雀

春鷹

春鳥

付鳥巢

燕

鳩

雉子

蝶

蛙

茶橋

莖

春草

春月

躑躅

藤

欵冬

海棠

梨花

杏花

李

辛夷

木蓮花

若布

春錦云

永日

三月露

雜春

春錦

春露

雜春
 春錦
 春露
 春草
 春月
 躑躅
 藤
 欵冬
 海棠
 梨花
 杏花
 李
 辛夷
 木蓮花
 若布
 春錦云
 永日
 三月露

玉海集追加卷第一

立春

元日夢想

御

日本國に今朝も初辰敷御成

大由や古古にもさう御代の春 伊丹世治氏 重紀

山阿それあささくもや門乃相 一守

蓬草や心もあさりてと物れ春 青地氏 可軒

万歳のるにさうれあめ 紀列住 長本

すてりさくさくさく 三河 長之

賢良の書て仕人好ん

あささくも同車よめさう御代の春 伊藤氏 信濃

総民や憐慈てさう御代乃春 伊藤氏 祐二

君とあささく子万歳御代れ春 和列之古呂松軒 一唯

年あさ御代も都鄙安ん御子 肥後國三浦氏 金門

さう御代もさう御代乃春 尾州六郎 陳真

丹波水上郡栢原安田氏

つらつらつらに新志ゆんの血鋤栢原西宮 吉度

だらり善も腰とあしひら礼者栢原西宮 正則

あのみ善い例より坊を礼者栢原栢坂 不必

指波や礼依三百々々の礼 定吉

いさらの善に

あつらふと姉と改心今朝乃善栢原素名住友氏 利宣

鶯やりのことさけり乃と物代善山本氏 徳宗

鶯とと物梅笛やあくみこと 善入

徳人此常のさうあつらふ此善栢原西宮 宗脛

我おさへ長者いつに々々の善岩庫 祐安

くひくひとせもやせもや々の善肥後隈本源色 一直妻

解てつらふ酒や鞠の花のさる丹波栢原住栢山 著英

手徳の神本にさくや花れ善 回

中目やとらさ大賣乃りみ善草津之住木村氏 重道

とらうつら母も花ひくや鏡餅伊賀上野松木氏 未友

栢浦よりて

鏡もらわすつて松浦の祚の去 肥後熊平海童 一直

すつる人 いさよ ちのちられ鏡也 惠佑

月後の祚れすつて鏡もら 長之

元日子日ありとれい

鏡梅よつてつら大おのひ也 月

と いさよ ちのちられ鏡也 尾 榮春

子 いさよ ちのちられ鏡也 鏡也

子のこと敷の子 いさよ ちのちられ鏡也 長之

ちれ緒と豚の結ぶつてん 小川氏 並具

母 いさよ ちのちられ鏡也

ちれ結 いさよ ちのちられ鏡也 羽洲山形大野氏 忠親

の心道に榮期 いさよ ちのちられ鏡也 江別東河原村油衣寺 性琢

一子 いさよ ちのちられ鏡也

娘 いさよ ちのちられ鏡也 善大室 小督

ち いさよ ちのちられ鏡也 一年男 一直妻

ち いさよ ちのちられ鏡也 河内河原清水 春霄

あつらひ矢也近江源氏の弓なりめ 江別藩山伴 清次

すそへにたしき思ふ弓なりめ 可頼

あつらひ矢也近江源氏の弓なりめ 大津菅原氏 宣吉

宣吉の弓なりめ

船なりとてとてとてとての弓始 志真

あつらひ矢也近江源氏の弓なりめ 杉別共庫秋山 延年

あつらひ矢也近江源氏の弓なりめ 江別粉河大伴氏 定義

あつらひ矢也近江源氏の弓なりめ 和別吉野下市堀内 閑吉

陰系もしてりつらつら武家の弓始 沙門 全性

和別吉野下市堀内に

あつらひ矢也近江源氏の射初 小畑 吉當

あつらひ矢也近江源氏の射初 重道

あつらひ矢也近江源氏の射初 江別吉野村大黒氏 信可

昔のあつらひ矢也近江源氏の

震筆を拜領し侍て

あつらひ矢也近江源氏の射初 来門 梅原

我々如き幸人色如き如き試筆也 三河法橋寺 龍化 益純

毎そ何れも多れと

うら不つれん祢りやこれの書 喜多村氏 樂只

わひいもくそく試筆や定家也 勢別来名野 巨見貞 山井

氏祢気此文にせしめて結て

新書此世けいめてとや氏の祢 敦賀野瀬氏 定利

東武下向の時發田文とて

祢の書やとと申と名代源家 平野氏 尚好

賢皇の世代とて後々の祢の書 長之

わさり繩やたつとむすひの祢の書 江戸大学院 秀長

わさり繩も納受もと申せ祢の書 著英

母にの棚とつとつとわさりや方也 去霄

あは須棚右よりけりもと方也 一直

西はとや雲方よむとつとつと 冊渡笹山上野氏 重治

蓬葉れ鴻繪りうらつとつと 京大文 源直

不老山にすぬせ流りや 光俊

四角のしんやあ〜西條のあまのしん 坂倉氏 一之

後〜ら〜あや〜せ〜やあまのしん 賀正母 小督

河原町 津の整〜う成のひろ〜んあまのしん 河原町 七加正

由若男のう〜こやう〜り〜り〜り 光俊 光俊

真つら〜に〜気や〜く〜さ〜てあま 正典 正典

福徳の卦〜ふや〜か〜は〜あまのしん 勝徳寺 行哲

〜あ〜れ〜り〜り

通徳やと約〜天照のあまのしん 京尾庭 立見

通徳は津り〜さ〜ぬ〜り保保津 越前福井多田氏 祐元

保保津やま〜ら〜り保保津 坂本氏 惠佐

た〜く〜に〜ら〜りや保保津 野山巻地院 泰中

鶏とやた〜く〜れ〜り保保津 井狩氏 友珍

〜ら〜ら〜と約た〜く〜れ〜り保保津 重紀 重紀

ま〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら 紙羽村松氏 正章

た〜く〜のちや〜く〜ら〜ん〜ん〜ん〜ん 尚的 尚的

ま〜は〜ま〜は〜つ〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら 肥後熊中守氏 親宣

庭地ありて袖すりつらやつの松 移別西水野氏 藤頼

門よめり松ありとより産きいふ 産戸鹿兒崎是枝氏 忠信

庚子のと

とのえりのえりてきくよ門の松 新茂根住岩脇氏 正右

子代とよもつてやださる門の松 偏負

門松やとよもつてのよもつて 三浦氏 春音

あつ新室のしつとに

まとは庭とつねやみくら門の松 述定

かきり葉の葉龜あつ門の松 祐上

門松に老やのつてつり縄 大坂住 光信

重代のとつてつり縄 玄真

親王の家とつてつり縄

末宗のつてつり縄 三井寺 光元

あつつとつてつり縄

つとつれ父もつてつり縄 越前西野 光入

今物くし屠獲をやとつてつり縄 春實

くじ屠獲の頃もや多れ花の夜 長之

何そこの庭一ハ屠獲ハ鶴鶴益 括列赤穂水谷氏 尚胃

寺に屠獲や典書れくも乃事 櫻光

蜜柑より救のこれやけ者 村上氏 令致

栗田山青門多れ此の由て

従後とや東山よりとありき 吉村氏 久也

元日に梅あき草の成みく

み成のりてつとつと 大坂村田氏 宗信

国民のふもやとつね梅あ草 尾列 澄宏

君長や父子夫婦つとふ 京海津 之地

のとりつとあつとつと 京海津 吉述

万多れ龜や杉のくろ 京山田氏 兼室

破魔弓もつとのみ 京山田氏 重基

花の糸雪れ寒もや 京山田氏 利宣

ふれとつとつとつと 京山田氏 重吉

めくりまらや 京山田氏 のじの龜寛 並典

のりなりのり

越前切川

地智

作休非いらくやりのさなれも

大津福留氏

光徳

卯のり

気もさうさうらうらうや花の美

善八

菊の方のり

びく起やえ方よびうひさしのり

江列住堤

必住

父のり

春九

あひらく葉あやしき雲のり

岐阜加藤代

尚酌

ひげやと釣うひさねのり

一守

午のりやふゆふ付て引後

尾列安田氏

晴定

祥のり示す羊乃し

越前

真宗

猪の尻糸つてらるやりのり

杉列石建寺

重述

のりのり

まろり著とよやらのり者

越前福井山川氏

五樂

青湯のりや翡翠のり

越前長谷石舎氏

一入

くくく神やいふくくくふつめのみ 丹波福知乾氏 正通

くけりしもむ老れぬ 尾 貞重

ぬれぬ

すくみらるるにふくくく 本李氏 惠作

実のなれ実の元日に琴とひ

とそめ侍りて

実と実といわく玉琴の唱弁 肥後益本 不存

あふくもぬいあくく 丹波山家督氏 以珍

十一

十一歳にて

伯父くぬいあくれぬ 石氏 金正

くもくくく 石氏 重昌

四十の歳侍りての元日

つくくく 羽州山家督氏 令次

れくく 来門 梅吾

六十四歳は女侍りて

くくくや我百いれくく 年 同

ゆきあたる 雪のこまきれ 戸のひらき

丹波山岡住鳥居 清茂

毎冬に花畑とつてや花ひらき

著英

しんじゆ神のくにあめのかげ家の風

未夜

すめら代の湯殿くしめや水の雲

重基

敦実の津よ侍

風もくふらあひくもや浦れ雲

越前敦実 定利

大橋ののちまてぬきりゆ

くはりのんば春白よせ

春十一

ふんふんゆき晴ゆきしりゆ

まきぬぬあつちりゆきとゆき

惠作

まきしりゆき

ワのあひあつちりゆきとゆき

祐上

ゆきぬぬあつちりゆきとゆき

目にあつちりゆきとゆき

ゆきぬぬあつちりゆきとゆき

可教

ゆきぬぬあつちりゆきとゆき

初子

歳はれ哥よらむりくは神も 同

長くへいをぬつけり由代のあきり 貞室

元日甲子なりりたれい

めでこくや由代にめくろやたのま 同

湯煮くーめしはくひくろ後代 同

雪くすくうりたる元節に

落雪も酒あつこくのくーめ 同

これままそく写録相ま地りれ 同

卷十一

いそらのまにりりて

門にだせん今又十をりこれ松 同

宣裕や梅の福つくりの終つと 同

梅の裏造り受のま

あまもやぬいよりー文極 同

あまに雲芝かゆくせー

元日元日

重代の例もくもくもくもくもく 同

蓮葉比鳩や落出ずりんたり
月
舟にさしとくもるや言くろあつし琴
月

醫方胡鬼板

くろあつとくもるや言くろあつし琴
女静
くろあつとくもるや言くろあつし琴
春宵
後と心奪くくけ子板のさめりくれ
常信
那鳥の羽くわつしん氣くくく
野良民
正秀

羽のわ一渦峯てあつ世れと今日
重道

氷様

朝風比厚くもるや言くろあつし琴
馬淵
定好
智恵の厚くもるや言くろあつし琴
望湖
あつとくもるや言くろあつし琴
大井氏
重次

日子日

十八代... 徳定

亦十歳より... 長之

... 同

... 重治

... 重真

... 長之

... 同

春日記

若菜

... 春宵

... 未友

... 卜琴

... 偏貞

...

... 尚的

琴引の汁に引れりさうひまか 玉具

二度くくもあ菜の粉か夕まうれ 敦賀住 光知

生ゆらぐもうれい移いしうあうれ 高野山補陀洛院 極園

併撥いしうくなくまのあうか 長之

香れ中もゆらぐうや佛の坐 定好

まゆらぐもうれいゆら香れ佛の坐 光徳

第とらうや孝賓の園の佛乃坐 豊前中津住中山氏 梅室

佛の坐うらうらうや佛の坐 丹波鴨庄 正好

春六

いさゆらぐも佛の坐うらうれ 肥後熊本吉田氏 志親

生ゆらぐも善招うらう佛の座 肥後熊本吉田氏 志昭

買とらうもあはるさうそわいけの坐 兵庫寶湯寺 重道

唐那のうらうや一切經の佛の座 兵庫寶湯寺 本住

白馬節會

白馬のうらうらうあうらう節會うれ 夫嶋氏 菊澤

右儀長

昔書くより侍りて

右儀長いものゝしりぬれぬ

照列中居住神前氏
長之貞

右儀長いものゝしりぬれぬ

但列生野中場氏
安永

浦島よりくわしりぬれぬ

長之

あはれ勝にりり侍りの日れ書會

正貞

春十六

賭弓

あはれ勝にりり侍りの日れ書會

あはれ勝にりり侍りの日れ書會

處

あはれ勝にりり侍りの日れ書會

池田氏
正貞

引ひけてま候のまゝる處へれ 和州十市郡田原本 正賢

山家のしや若一らの物めり 尾角吉村氏 山里

のりもて引ひらりたり物處 桑田中 正業

若くもむし物處や終りし物 武列岩付住 木玉

を道く月やくくちり物處 括別西氏 重正

くちりに毛もむし物處 不必

くちりに毛もむし物處 敏玄 秀辰

あやむしりし物處 常後

ま候くちりや月れ鬼網 月

だてとだての巻續も何ま處 尾列津氏 周法

ま候てい物處の浦やい 田中氏 尚房

薄衣もい物處 兵庫西聖氏 一之

布引候と生田の毒より候

うらむし布引の候やくだり 未定

難田と子浦里と

ひらむ日と難のあひむし物 備前片上木畑 玄好

白蔭よみののちのちも源氏酒 但列生野内海氏 範之

すもやまじりや天地のなる信 三信

西文の白蔭のちのち信信

とて

ふれえちのちのちのちのちのち 甲山 貞室

鳥

ふれえちのちのちのちのちのち

和列作のうらとて

ふれえちのちのちのちのちのち 河内所厨清水 春宵

鳥や字にうらとて 銘勝 真察

鳥や字にうらとて 賀州金沢 周元

鳥や字にうらとて 江州野庄山里氏 李炎

鳥や字にうらとて 春宵

鳥や字にうらとて 三信

鳥や字にうらとて 利宣

羽州長崎青木氏

ちりりあやうくひすもあこひらま琴 定章

うくひすれりい星奇のやまもいれ 春香

河内蒼田

鶯のちうくひすこれすもりうれ 一十

大津氏

鶯のちやうくひすのほこひりう 重次

鶯のちの復よこもくくうれ 月

鶯のちの復やうくひすもりうれ 月

花小舟は中しうくひすもりうれ 月

越前長門河原

金玉のくひすもりうれや金衣鳥 幸重

江戶

勢のちあえ不滅乃あま金衣鳥 正盛

大津若林氏

榻田とまにうくひすもりうれ 吉信

うくひすもりうれや竹うくひすもりうれ 不必

うくひすもりうれの老のちやうくひすもりうれ 月

花のちや老のち乃ばせれ 不必妹

うくひすもりうれの啼湯氣と依依 利宣

丹波福知山一井氏

耳のち先とちうくひすもりうれ 久重

うくひすもりうれや鼻てうくひすもりうれ 卜琴

甲州身地山れりくははる

名をそそ勢うとと鳥はと

らねーとさうー

鳥のあは勢うはやみくき澤

徳定

金衣鳥と卯のちをすうしね

貞室

梅

子白寒波のくきー侍

國津風ゆりくきや梅の菊ひく点

利宣

花は波心引しれくきは梅の風

偏貞

卯梅の赤梅檀乃たぐひくしれ

光義

夕梅やききうりー雪れくき花

著英

編有梅もくく下馬もれ花の友

村松氏 正次

下くうにまひくひてみせよ編有梅

正次

爵候たもくかおるものくは編有梅

大石村田氏 宗清

編多梅や色香気めくく水空名 徳定

咲梅のつらうはえつめらん一荒川氏 公共

梅の精や敵かりし酒のてし雄 梅室

咲梅と妖霊りーう花いくと 一 壺

時辰のんー花よ海やあれ梅 但州上木田氏 一 長

水にさけ梅とくくひまのやくと 尾州文勝 友下

うくひまの帯梅やあけ系曆 勢州富田氏 魚次

梅とえれとくくくもらひ白ひ水 南津

沈水うくく梅のくく水の露 尾州 之也

よのつらう枝やあけー梅の花 壺 真

如野

どひ梅とあけつらひまのやまの風 可 研 越前福井神戶

どひ梅やあけつらひまのまのし 揚州尼法塚 定光

天祚の梅のまのひやりの鞭 揚州西宮善馬 重幸

里と梅とみん天祚れ修垣水 利 宣

天祚乃中ぬあやうの何小 徳 定

ふらふらとさるさるまゝにや花のあよ 不必

うらむに親しくもなや花の兄 徳定

月に出度れ先く花の兄 次本

花の兄は老れさるもの徳文 長本

宇治香よのしぬ非波の花のく 安成

香にのりり家の風けり花れ兄 世典

久は香よさるるにけり花の兄 惟庸

文よとくくをさるるは花の兄 正則

へーとくくは枝うたやさるるも花の兄 重活

咲枝はくくにさるるも花の兄 著英

至賢のなやさるるも花のあよ 義鄰

佛あに梅花くとも向付て

佛をきに向や花のあよ 定孝

封せりや芳菲の候に花のあよ 重道

雪れはぬ氣はりにすらや花の梅 春宵

鶴池借

月ひかりや藤の梅乃くれ 加列下市内 因言

津梅のうつくやまの津の月 大津若林氏 吉信

津梅よやうとめくれぬ花はし 不心

渡唐天竺の教修に

煮しころのくぬや津は梅 貞室

壬生夫作はふに

花の兄やたにこれ津の津意愛 同

十種の名多れ題とて

おれ慶のんくやじめの風 同

ふれいしく津梅や同く花軍 同

本れ母や唯くくひすく家のめ 同

春水

あられのく水や水は水くまれ 泉列堀 源安

佛のいとくく銀のくありん 源安

善いふりてとらる水やはけの水 定利

ひかりのしほにまて

妻は日に親子の縁やうほ水 羽州山形川上氏 冬空

佛別

いせくもやわりの枕しそ温繁像 長本

目うつこやせほあまや温繁像 揚州大坂井原 莊之

頭山画といふのたまり入温繁 善入

かくれほふまかくれなるに佛くれ 若英

頭陀袋のくろくさくさくさこの別が 庄景

やまこころのくろくさくさくさく佛のわかれ 大井氏 重治

お佛も安座臨終後名跡くれ 首高野山志地三氏 泰吉

二月4から江州赤出濱に

て赤門江赤武よりくろくれ

くろくにゆき逢ゆりて一夜

あゝ霧りして

霧にちかれの跡後にとあり所もなき

作者不知

春雪

花とみそそだくは雪れきつて

重道

二月にちるいさくく雪れ花

生致

雪中の梅枝

梅の枝のこのあつここれの雪

和列山原本住 正賢

村消れ山いさくく報花れ

望湖

三美の役せひいさくく雪の花

和列尼崎住 重徳

水性の雪や正二うたけり月

滋列むす神内 吉正

ひくく雪の雪もや班のよき雪

友静

水いのりり雪西だくくや雪

直奥

春雨

さひさや容くらそあるまは
偏負

柳

兜摺やりくおち乃柳り
酒定
娘垣れだけよあまらや柳髪
同
菫風きにくせやつさる柳髪
偏負

陰あしそて只結作らるや柳髪
利宣
志和風にゆきしれ浦の柳髪
不必
油つふと引出ほりやりき髪
同
うらうひて髪はあらるや極
同
地とついでとまきりや極髪
不必
水油ついでとまきのあらと圖て
水油ついでとまきりや極
お芽女
さびささる柳やちみ髪
正好

柳髪にぬくくゆそく白ひ鳥 可卿

やししよきくくくくれぬ柳大佛小川 真察

真つらや池乃頬汁い柳江列目野佳良并氏 正忠

骨つらり切口大佛小川 糸柳 充寛

柳く糸くくくくくく

あ〜ひ〜くく

無決くも冠柳よ糸くくく 忠重

きききききききききききき

地柳や鈴池の水のうきなり 春宵

地柳ようきくくくくくくく 春宵

めばくくくくくくくくくくく 順辰

観音よりのりてやよき柳髪 長之

松を舞これハかうあり柳作者知

松の結

杉鳩や杉涛とつふふと

緑もや地紙りてとら少杉涛 高野山成龍院 了絶

椿

花は鳥やわらうらなぐらう椿 春宵

去筆 花家のたのしみ

つらの筆翅にぐんじ存幸うれ 定利

是田りてやうや筆耕去の筆 可却

清川のあつれてとけり去の筆 結上

去の筆とらやき村紙せうり幸 不心

右筆りやとつれてとら去筆 越前編并 點可

蕨

足更のふつとちうう蕨うれ 水戸山脈 不競

あはれあーのぼいふとあは蕨 和列沙田安村 正次

ちりやふふち鞠ふのふたあふ蕨 和列益原氏 則実

あけてふふゆふとふやうあふ蕨 尾列吉吉山後氏 清親

ひら曲ふ山海にあふやあふ蕨 依用氏 年佳

ふふふと天に揚ふせあふ蕨 兵庫山沢氏 重吉

ふふふふふふふふふふふ 和列沙田牧氏 知貞

ふれと我ふ多梳しとやふ蕨 勢列四百二十田氏 長之

賢人ふれあふ蕨のふふふ 和列吉宅 吉宅

花

あはにぬれてふふふふふふ 和列金沢牧氏 一粘

さうさうのあはれふふふ 和列金沢牧氏 一粘

花も細くふふふふふ 和列金沢牧氏 一粘

昔芳子の火とくは花紙もら原 和列吉野下市 正信

肥枝の枝に火とくは花もくれ 和列三田住 な可

花紙もら侍りは

つらつらとくはもらつく花盛 偏負

つらつ花やつらつの人氏方袋 一壺

毎紙よ心や花のふり抄 重道

方より紙花紙あつらひる文紙定 丹波山家 心静

奇と案しと案するむら 尾州 之也

花のふり奇の良材乃少所 利宣

連奇よいかりとくはつらつ花に風 長崎野沢氏 曲旅

つらつとつらつとつらつにえ作

つらつとつらつ

つらつとくは風賦は身が花と風 防州住宇松宮氏 由的

花紙よつらつとくはつらつとくは 岐阜松系氏 玄潭

つらつとくはつらつとくはつらつ 利宣

唐れとくはつらつとくはつらつ 結上

花のあかし一冊

辻くわらふ雪方の花のうら 隆来うれ 勢列松坂 三忠

山邊の花お

隆とまると花を坂よや井りのゆり 春宵

しづりよや井れよなれ花の枝 利宣

やうりよと枝ためしづりよ花のゆり 重道

一枝の井りよ章一の花のうられ 伊勢松本氏 一心

花のうら風しづりようら 美濃大垣中侍 淑次

日くわらひとる花のうら 丹洲海初山内氏 重廣

山と一葉とよわらへ花のうら 滋州竹ヶ鼻奮氏 可正

とあしとる花のうら 勢列富田廣瀬氏 益吉

みおくらや花のうら 尾州名古名住伊藤氏 結上

みぬ我う目にうら花の自ひ 丹波山家住我推 保一

めくれせはみくらや接穂の花 江戸之住 林麻

水橋の穂もやうら 尾州名古名住伊藤氏 正次

以合しや花の橋本に竹のふ 尾州名古名住伊藤氏 一和

恩よらんせんふの埋ある花盛 祐上

年々色もろや心家の物さうり 正信

みろのうららけとらや花の信 長本

あふらけうららけとら花の信 不心

花の信うららけにあらた強し 紀列粉川大伴 定義

強事代神代さうらや花の信 長之

風流とつよ根平うららけの波 公若

舌橋に頼くららけのうらや花の信 中川氏 善書

花信代ゆらけにうらや花の信 偏負

花の葉やうららけの苗蝶の葉 未定

のうららけとらゆらけのうら 揚列伊賀首井 玄巻

下産いあけとら我うら知ぬ花の酒 三信

磁黄蓋てのうらや火とら花の酒 望湖

花下うらと酒とらうらと

寂ふしと標の酒うら花の信 未定

花の酒うらとらうらとら 善入

香いよしの花もよしの花も花の酒 大井氏 重次

すけきん花もよしの花の香 長之

大木の花もよしの花の香 不_必

よしの花

世の香にちるの香もよしの花 春智

水園の香もよしの花の香 恭重

あけしの月もよしの花の香 不_必

惟もよしの花の歌 著英

風にうよ花も香のよしの花 重吉

花のよよ花もよしの花 不_必

よしの花もよしの花の香 同

杉のよよ花もよしの花の香 芝前中津佐吉春 知章

感にの花もよしの花の香 徳定

よしの花

下冷のよよ花の香 不_必

菊令の香もよしの花の香 組別初音山照村氏 義重

~~~~~

~~~~~のちのちのちのちのち

酒宴

梅のちのちのちのちのち

春宵

~~~~~

~~~~~のちのちのちのち

月

~~~~~のちのちのちのち

~~~~~のちのちのちのち

~~~~~のちのちのちのち

酒宴

~~~~~のちのちのちのち

春宵

~~~~~のちのちのちのち

酒宴

~~~~~のちのちのちのち

~~~~~

~~~~~のちのちのちのち

酒宴

~~~~~のちのちのちのち

酒宴

~~~~~

~~~~~のちのちのちのち

酒宴

日光のよて

とくちわつ花とうくみの浅津波

依若子知

らつらつや花もさう管あ〜山

長之

盛のは花によま〜りて

多くあま〜る管〜や花の山

備子又

さう系の何多極色の花をる

〜は後ろ〜せ〜りて

系極乃花〜り〜し〜初り回全口

資治

心踏も〜らつ〜さ〜ら〜も花のる 利直

嬉淑の花よ〜土黒り〜か極りれ 尚的

あめ〜らつ〜ら〜ら〜海も〜さ〜木 坂倉氏 一之

きりあ〜ら〜の海色の〜并よ

花の咲けり〜ら〜海も〜

花よ〜津の山あり〜海も〜さ〜め 滋実

きりあ〜ら〜の花を〜ら〜ら〜時津郡

〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜

花の綿くすねのぬきこひ三日多 春宵

能列りて

室の袖漱部気ものつらみ花見 清治

はすあきく秋の口と

しよふれ花より

あわけて花さうせてし秋乃口 尾州郡長崎氏 睡翁

花ははら〜〜〜とて眠

立人よ

花見心人の自らのさつらつたれ 大井氏 重治

春一季世界や花よ自らの間 下琴

系圖書傳〜〜〜に極

の〜〜〜

花のえんもあつや源氏の系西番 和州郡山崎氏 安次

ゆひろくまうまゆ〜〜〜花の宿 尾州郡田代氏 系章

きよは花ふのちつや春のよ 傷角

秋とまりの〜〜〜花の面 尾州郡大田氏 秀弥



香にの味方らるるにの歌も花の風 若洲小浜佐平尾成 正茂

登りおのち車とゆらや花車 正玄

風の多にひくられてゆくな花車 教文三三三 秀辰

風の多や胸にゆれし心花の枝 重道

とうとうも獨やうれよ山下風 正剛

さうらの門や花うく風の口 重孝

身に汗と梅や風よ花の影 羽列山形之原 重之

あややあやややあやあやの繩の花の垣 梅貞

卷三十七

垣越の年うらやうし花の風 利彦

花あしと風の多の音に日脚は 重典

花よのちや年よ汗もろの木の風 長之

あやや花よあやや風のていとう 江戸板倉 満展

ま風いとうとあやや花のうら 法列坂岸長谷川 吉包

花おのちあや招めしや木の影 祐上

枯の田いさるうすまもてよ花の風 月

ちふらうとすまもてよ花の風 春宵

ちる花やうね一投てとふ胡蝶 大井氏 重以

月乃毒ハ一蟻くも散花くれ 祐元

明風とさめ山あすう花とくれ 玄真

あつ〜と山花を人に

風の袂と傳る咒も花とくり 春宵

赤山花見あり〜とけりな

八坂のちあ〜して傍列 逸生

さの靈宮月夜大仰と拜

と〜と〜と〜と〜と

花めひくれあ〜びの目ひとと大仰也 春宵

花のほつけをちあ〜と風の袂 羽州長崎大由 定孝

ち〜と〜と花めも風や袖の袂 可脚

袂のあ〜と風の子と花の浅津水 長之

親ふ者か人とも花〜とをありき 親宣

風葉よあや〜と〜と花の枝 本津福田 光継

花あつらぬ風の非常の大紋くれ 真宗

あゝに咲とあゝたゝるの宵也 曾立

咲まけの花もや多はあゝゝゝ系叔念氏 一之

終よ又ちうや接もはゝるれ也 系甲中氏 正伯

花散の多きのをせのたよはふ 徳定

山れうもゆや舞滅花の風 武列江戸星野氏 好圓

禪世

まよてゝ人枯もれ下も花の友 松房栲川本下氏 元征

まよてゝ親の運終のまよに

花もわらけりゝゝゝ細らゝひけ 春宵

ふらうはもゝりて好まれ

しゝよもゝりて

あゝに花にすゝえんうゝゝ本信也 利益

昔登りて後とゝゝゝゝ

空のあゝゝゝしや花後 春宵

大軍やあゝゝゝゝゝ花軍 不処

追くゝゝゝゝ加勢ゝ花ゝゝ伊予小松之住 可夕

花のよしののま女に花のよしの 羽列山形三木氏 青松

花のよしののま女に花のよしの 肥後名古公於羅氏 後峯

花のよしののま女に花のよしの 肥後熊本三原氏 宣賢

花のよしののま女に花のよしの 白木 由実

花のよしののま女に花のよしの 周元 周元

花のよしののま女に花のよしの 江戸之位 林麻

花のよしののま女に花のよしの 坂本 白梳

花のよしののま女に花のよしの 白梳 白梳

花のよしののま女に花のよしの 蒲州三木五百盛氏 晴正

花のよしののま女に花のよしの 江戸今津有傍 可澄

花のよしののま女に花のよしの 勢州素住 劔也

花のよしののま女に花のよしの

花のよしののま女に花のよしの 青松 青松

花のよしののま女に花のよしの 揚州沼上江村氏 卜也

花のよしののま女に花のよしの 不必 不必

花のよしののま女に花のよしの 直昌 直昌

我為うらうら花よんや余亦乃もの 卜琴

大津長島もよてる中に

面おもよせしけりもや花のき 貞室

肉の谷よて落る花は

花の風よやもろしく止るる音 同

山松のこころわらわ花の風 同

松雲影も及山和尚息けりよ

まけらるや花のさかたにけり 同五

扇松葉の花よりくさるる甲 同

扇

扇る場よて

はらりしそ先のつる場の秘様 傷貞

皮者扇る花の種の実よも 尾列高津氏 因波

まのむら山知織候やうとみ返りて

統堂と——て慈母れ花の宿 尾列 春宵

われあつやとく慈母れ花の宿 尾列 之也

感もや小田中とく時分多とく 河州松平真誓氏 春宵

和別は記さの糸標とこそ

地とくやむは記さのいし標 梅季

和別忠厚いよとこそ

枝やのいし忠厚いし糸標とく 同

無乃子成とくいし乃糸標 越前折川木下氏 知真

花の編みれとくや散——糸標 播州三木心之守 可養

人のいしとく花や咲く久

いしとく花や咲く久

いしとく花や咲く久

見に空母れあとおゆを——糸標 杏葉

いしとくや百枝の梢いしとく 祐上

意志ありてみる人を世とく——糸標 湛定

大本とくわや獨活わく——糸標 春宵

夏集の河津よみ成候とて

落花——香もあつてあつて山様 正

花の香や地をうらむわ家様 加多利金沢 周元

咲花や唯毎朝の香の家さく 丹波津 一長

風も毎朝のうらむいけの家様 大津福留氏 光継

鳥もくも花よいら——家様 不心

赤よのけし花やまれりら家様 吉野堀内 守治

作らや——つとくちや家様 長之

紋巻に共うや形見の家様 法言

咲てあくとせし家様 曾立

し——うらむ家の身はれ

られい又——や秋の家様 沙門 沢元

散——波や板りりの家さく 越前福井 一孝

東山黒谷万日念佛真りの

ちりて花は成りて

万日とあれ——ちの庭さく 大沢氏 生致

江州湖水の巻よそ

能登七尾佳落長良

花の浪も風やんこくもにいの橋 須良

橋戸や花よまろ海乃のわらひ口 長本

花のけや浪来まけのり橋町 蘇勝院 真実

宿とろや花らみ於人ま橋町 勢州角度里 守為

九多れさくくもくは守り必 丹波神池寺 可常

勢州多度郡の人の挨拶よ

さうねやんやんこくもにいの橋 江州草津左長良 正感

ゆげとみろや態をる若もいの橋 友静

日枝にうけー 鏡々伊勢橋 大坂住但山氏 徳懐

三梅の松とまろー 松々ーやま橋 紹州庚辰 時秀

下の名は傳よ

花の浪も破意にうけや伊勢橋 坂倉 満展

名にまろの浦糸と何のまろろろ 梅室

神風もくろろろろろれせ橋 尾州勢州住小出氏 立心

當麻寺の巻れ橋や海んだろろを 法州岐阜 可親



ひーやぬ花のいさくや主様 村上氏 合敬

兜様 河州松本氏 合敬

井のくされ兜様 長之

やれひくされ 兵庫八幡宮 妙性

下まれば 但州生野長野氏 兼秀

くされ 今津 不吟妹

焼 今津 不吟妹

くさ 今津 不吟妹

向にやむし花の衣母り焼様 梅香

焼様 今津

是と焼 括州今津倉谷氏 不安

志 尾州源氏 不真

風 大井氏 重次

由 水戸山縣 不競

四 水戸山縣 不競

花 水戸山縣 不競

春宵

山崎のやうな

〜花も象の像や 少き念〜 月

生きたら花のう〜く

あつぬを侍て

水〜あれい〜と〜ゆ〜り善賢象 著英

礼拜〜して〜もゆ〜ん善賢象 杉州西の四位氏 軒後

〜花は牙の紋や善賢象 虫真

花は敵のう〜

三珠橋の苗よ〜くや善賢象 大津四村氏 秀之

咲〜の〜の虚とほ〜く〜く大橋 梅室

橋〜〜くや善賢とけ〜く〜の橋 杉州大蒲 有次

鯨の〜〜く〜くや善賢の苗の風 但別生野住中馬氏 安平

塩竈の〜〜く〜の苗の〜〜りか 本井氏 重治

塩竈の〜〜く〜の苗の〜〜り 賀州金沢 周元

塩の〜の塩〜〜く〜の苗の香 尾州高津氏 周澄

橋田に〜けりわら水や花の成 丹波福知山吉田 吉久

橋田の月水さわやうーむん 越前福井 可弥

橋田のあーやあまのうらら 播州三木留氏

鳥辺追ふ鈴ハ橋田のゆるさふ 熊野長岑君氏 一入

接わりの牛の海うとととと 敦賀野敷氏 定利

うらうらと結るさうーのうと橋 公共

さうとさうら花のせうら 移州西之住辻氏 重治

光あつた花のうらとや橋丸 大津若林氏 吉住

橋真乃毒流ーは花は風 吉真

うらうら本れ花のさうら 吉真

河橋いみみうととんと橋 吉真

うらうら花下にかーゆ 吉真

海老にうら下臥せつや修勢橋 吉真

ひの瀬とくめ緋橋の花の交 吉真

右奈吉樹院よ大本れ橋の

中ようらと橋のま 吉真

中ようら橋やま 吉真

中ようら橋やま 吉真

りきつゝいさくよ尾よれ著賢象 同

搦鯛

付搦貝

和子いえん釣つりそりも搦鯛 公共

魚の釣て釣もつりも搦鯛 薩如康兒嶋六出 漁也

みそりや子言はははれり搦鯛 不必

らきりや子言ははれり搦鯛 不必

あえりや子言ははれり搦鯛 肥後太開 金門

うのりや子言ははれり搦鯛 友釋

搦鯛ゆりや細やえははれり 井持 常後

あえりや子言ははれり搦貝 若列小濱古開 京甫

春回

里ん此回すけりりや生ぬま 但列生野佳嶋 安永

妙に回くすくわつていぬのまじり  
并口氏 重芳  
やうすまこの橋にさすけりもたもえん  
大井氏 重治

南組芳

昔の南組もわらわらの子  
春也  
回くすくわつていぬのまじり  
梅室

付地達餅

非地にきつてそらうらひかき  
可軒  
屠蕨酌一酔もあめと地の酒 月  
飲んやま柳うらよとの酒 月  
亀のくひもそらうらひかき 長之  
春につれよ蓬々鴻の地乃酒 善八  
地の酒々ふらつらつ瓶子 同

夫の花くく人の醉ゆや桃の酒 法定  
 くらめらうよ牛の毛桃の林くれ 河内卷首 可啓  
 ありその多に牛よの酒代か 定利  
 桃の酒やまよ酒よりよ遠り 大津福成氏 光徳  
 といくらひ面にくく人桃のま 信法  
 々よの桃のくめの後ろ柳楊 重基  
 桃のまに髪もやまこれ若柳 中河氏 若柳  
 桃の酒に酔うやたよく柳腰 正信

三月三日 桃の花

列来して

我もくくゆくるたつれ桃の花 梅宮  
 西よ母くくつてくむや桃の酒 喜多氏 美現  
 酔つくれ睡もあやわよの酒 野之口氏 正秀  
 煮てつてくくよ桃多に柳く 友勢  
 母にちひくくわよこの孫生か 正秀  
 似たりやあひよ藍玉蓬餅 光俊

まればちやうつとこめて蓬餅 大津福田氏 光健

とければ種をうけてもまれば餅 正秀

蓬餅やゆきえにうらまはせの花 貞室

柳もやよみ咲きしそとくり桃 同

つるくもわめてこも持ハ桃の花 同

まればこもに花のよきあつ毛桃の 同

桃咲侍急のこゝ入に割れ

のちりやう成して

おぼろのれとものりは桃の花 同

おぼろ

さきには地をひくも相のおぼろ 馬河 定好

おぼろにゆく毛地いあつらひく 馬河 周元

春鷹

いづこ葉のさかひめ響る富士の月 大井氏 重次  
けんとりと追あくるの狩場 村上氏 令教

春鳥 付鳥集

独吟百韻鳥成らんとして  
多人の和りて

百子鳥ひよりのあはれ 彦根 氏忠

うぐもくや晴る洞窟のつりの月 流州加納 吉治

新よ葉とくしりてやたのびる萱 差列平野氏 正茂

葉立しそとくしりて 杉列徳吉西寺 弘誓

みよー かひそとくしりて 萱 はよりの 水 漁也

春の海 のけり 毛 ぶら くる 葉立 水 壺具

うい わ ころ く ころ く 鴨 の卵 くれ 証州多山水嶋氏 剛友

先妣 又 十 の 忌 と 市 ひ ゆ て

われ よ ころ く ころ く 葉 や ころ く 十 の 陵 貞室



燕

まきまらぬとたしやうのまゝすか 二共  
つゝつゝいさゝかのとれまのふ 河内善田 可啓

武家ぶと

だくしき山館にけりまうくの粟 教賀野瀬 定利

春の十三

帰鴈

尾も挽にしとくろし鴈の舩 移列西首 正則

柱も膠とくくやあつりり 南都森思民 立伯

る成りしんだめり日およ帰る 尾列梅留を山加板 不必

枯木そや二年越ゆる帰る 江州曾根村大聖氏 一南

ゆきくさいさいしりもまのる 肥後豊瀬氏 信可

志りまてる花も枝に帰る 肥後豊瀬氏 宣統

此集の望ありて度と後  
白と送りうーとて終に白  
もとゆーきりやれいあきり  
のくききにまねつりり

棒紙の色影に中付けり

一羽りりてゆーとてあれまのる 尾別川き氏 な久

ゆーゆのちうやもんまのる 大井氏 重次

羽風もつれてやあよゆりり 貞室

春又十四

雑子

懐形もてのまら子雑子の劔の色 勢別桑名任貞野氏 志茂

らんちのまらとてなくらり 田州長嶋青木氏 定泰

くけいも勢にたのあら 丹波黒井貞村氏 退歩

卯とふいりりの多る

今くく

このお子あつひのまをけりて

武州岩付住

木玉

敷火のあひやくれ侍りま

音田山の庵より侍りて

少くもさしむるまに焼かれ

貞室

蝶

ゆる蝶も胡蝶よりくぬの波枕

越前糸魚の叔本氏

義鄰

猫の子れ小猫も秘くも少蝶也

肥後熊本有畏

純惠

くのり身も花の露もやゆる胡蝶

不必

ちんちん蝶のくぬまは

きりりなま

花の敷にちんちんくぬの胡蝶也

同

雪に似たり又ちんちんしや舞胡蝶

丹波植原安南氏

吉度

蝶の舞や身もゆるく花の露

梅室

花のくぬの遊付くぬも蝶の舞

伊賀上野中尾氏

吉楠

まふ蝶の蜜漬のりや花衣大官 源也

花よ風よ舞くくくくくくく常後

花よきぬりお流儀わわわわ利定

まぬりわら蝶の宿汗く花の宿尾州郡長嶋氏

海棠にともり胡蝶や格梳徳懐

蜘蛛の糸や胡蝶くくく久吉

蝶

舟池のわらひのきしりや井の奇 惠侗

成ねき回に任ゆる教考え

よあひゆりて

よむのりけりも回れ可教

今のくけりやあり栗生氏 徳正

今とみくも鼻油くわひきく徳定

よむのりや難波のくくく安成

但州八木之庄中嶋

しんさのふぬくすわわ戸蛇 大津福田氏 光徳

うら成るいさ占やひくわぬく 但州生野長野氏 業秀

勢進のさやしじゆのんわ 實州金沢 正種

くくひまの徳 羽州 忠元

而森面に帯しや 尾州清水氏 徳卜

くらりく 徳 芳のや しん 著英

さや 可 蛇の文字 と 壱造り 卜琴

争の心 勢 まく の 徳の蛇 れ 利宣

あ ら 他 の 蛇 や ら れ と 金門

よ の ら 伯 回 せ い の 蛇 の 軍 れ れ と 正 賢 坂草在野氏

さ ら ら ら 他 の 蛇 や 華 軍 と 油 之 武州江戸坂倉

く ひ あ い の 蛇 れ 軍 の こ ら ら と 業秀

要 害 や 治 と あ い の 軍 一 立 と 定 吉 但州高松氏

あ ら ら ら あ い く 鳴 蛇 と 尚 房 田中氏

あ ら ら ら あ い く 鳴 蛇 と 一 之 坂倉氏

あ ら ら ら あ い く 鳴 蛇 と 三 信

軍神は血多かりしとや赤く  
あまくて喉かろのまろと勢  
多に花喜いとしうりかり  
利宣

肥後清沢氏  
棘口

茶梅

香の風がや茶うこのたくら  
徳宗

火つらしとつらと火とて代香の風  
貞真

莖

しすけり人のあまれ  
しとけらあまの  
にとひ侍りて

昔もつゝあまて海にまき  
皇湖

春草

賞とらひ響くねりやもあふ萩 池田

文様むに姑ありやもあふ萩 和州住持松尾氏 安成

汁の煮あひあは女房うもあふ萩 曹前中津飯留 三絶

誰はくもさうさあにぞんもあふ萩 大坂住持 未正

草しくこれ種ゆえわく花園水 石崎 可澄

春草九

うさもも崩出くや水煙 岐阜松原 系次

花さけいもてくもくり較草 尾州 之也

くさ物らめれ内ゆくや利根草 滋州岐阜住持太田 秀所

花の虫あそびくつけと鬼筋 三信

砂らり草れあもくく三方斬登 重道

金銭花四回く威の園りれ 肥後寺田氏 守昌

井戸あくゆきりあも金銭花 敦賀住持 志記

くくつふ花瓶の内く金銭花 和州玉井氏 足隆

餅みても味やわたりんや  
勢州津住  
劔也

春月

勝月や四方の心はこの一つね  
卜琴

月代やよりましく七重八重の庭  
法玄

梅りのは月より

勝月に非波の毎やよりりり  
備前斤上木綱  
玄好

躑躅

同二首

花の敷つこめりも餅つし  
揚州山下原屋氏  
次吉

作保娘いつくやいぬの餅つし  
揚州西宮水野氏  
徳頼

みろくよこつそくし餅はし  
三河菟原海蔵寺  
与吉

つーと愛おして





ふらふらとあそびて

ひたひた

門くもくもあそびて

花房の氣味の子め

白あはれもあはれ

白あはれもあはれ

あはれあはれ

あはれあはれ

酒徳

忠孝

祐上

定孝

徳定

忠孝

杉にそよよと千年の露あはれ

杉あはれもあはれ

杉あはれもあはれ

あはれあはれ

あはれあはれ

あはれあはれ

あはれあはれ

あはれあはれ

丹波福知山二井氏

久重

五条

重永

三信

直真

直徳

直徳

直徳

直徳

勢州朝明郡畱田彦瀨

直利

黒字やあれたる月、はるる山 江州八幡津氏 賢治

はるる山 江州八幡津氏

落目よさうら 肥後熊本殿柳子 雅克

あはれ 退歩

あはれ 貞室

杉の木の 月

みづ 正冬 月

吉田 丹波野山

あはれ 月

款冬

あはれ 敦賀野瀬氏 定利

あはれ 牧方清冬 定長

海棠

海棠花眼まろ枝やまきく  
梅室

し那津りわつりまわつと海棠花  
性琢 揚州 沢上江

海棠林檎のくちあひ

てまきゆりしとま

かいつのらん毎まわつと花のあ  
貞室

梨花

春宵

梅多にまきく子梨の感うれ  
春宵

楊貴妃にまきくし梨花のあ  
秀之 大津 西村氏

杏花

あつとや南枝あつと花まきり  
三信

くつとやんれ杏にあつと花れ風  
陳真 兼名天嶋

李花

乞て花はみづの清のまじりて

真昭

肥後熊本佳吉氏

すももやあふこふれ花の露

義重

辛夷

青柳たる花はむしりて

徳宗

春

木蓮花

池中に樹とる花は木蓮花

恭重

若布

つらねに入る聲川西に海

揚州江村

安治

春郭云

少翁よりてきいやくしと事立

但州生野西川氏  
光幸

春のうら踏へんてわけ後代鳥

不必

海生嶋に郭云やうて

昔春より初書の初書りくこと

善多  
秀観

採日

乾坤のくくくくくく日脚

利宜

まれ日や来くくくく橋れ古海

勢州松坂  
和女

くくくくくくくくくくくく

大井氏  
重次

八二四



細くはてしなく花のくちやけの場 徳定

花教煙燻——くちやけ

咲てらうよとさ日ウのりは花 能州古尾落合 昭辰

海原にまうてく子部の子煙

と誰やメ——

煙のたうくしや浪跡のせんり 懐亭

言わくくつさや——は烟くら

花は——うまて大空志海

うまて大空志海

若くは——くちやけ——花の場 春智

花嫁やすれつら星は家さく 大坂松尾 昌次

葉と葉の重なりてや猶せれ 肥後中嶋氏 親宣

たうれては浪は素うよ小猶くれ 郡山甲中氏 氏重

喜々氏表視一子生敬純吉

退悼——

一途のうせれてうたやうんくれ 可頼



甲子年... 二共

貧乏や身の内... 一直

ふきんに... 三信

海くち... 見春 丹波福知山内氏

やうん... 源也 京大宮

新... 梅室

さう... 月

杉... 不競 水戸山跡

横町... 源也

宇治... 徳宗

こと... 善入

作別物使の文... 真可白よ

勅使... 道的 播州姫池田氏

あ... 重道 海常法帯

勢州山田志... 林三下

東林... 友静

春や冬くさくさしつらつら此處中り 播州三木 受一

花魁志けい美中くさくさ向うぬ 泉州若中住河原 正色

風つりふ下戸もあひる梅枝 京山聖成 宏井

とりのりふおのこころさぬ花の宿 武州岩付之住 常中

掛番のせらうれ候の白ひぬ 貞室

*Faint bleed-through text from the reverse side of the page.*

